

D2660

東大阪東ロータリークラブ

Rotary



HIGASHI-OSAKA EAST ROTARY CLUB

Club Weekly Report 2018-12-6

No.2589



創立：昭和40(1965)年3月4日

『職業を語り、誇りを持ってロータリーをエンジョイしよう』

例会場：ホテルセイリュウ

例会：毎週木曜日 12:30～

HP：<http://www.higashiosaka->[eastrc.jp](http://eastrc.jp)

会長：水上 雅博 / 幹事：藤本 良男 / 会報資料担当：田原 さおり

## 今日の例会

- 本日の卓話  
「ロータリー青少年保護と  
危機管理」  
地区危機管理委員会  
副委員長 近藤 眞道 様
- 今日の歌  
「君が代」  
「四つのテスト」  
ピアノ 岩島 佳子 先生
- 例会後 12月度定例理事会

## 来週の例会予定

- 12月13日(木)  
「相続税と養子縁組の問題点等」  
勝山 巖 君
- 例会後 年次総会

12月は  
疾病予防と治療月間 です

## 先週の出席報告(11/29)

(11/29)の出席者数：28名(1)

11/29 出席率：54.9%

※( )内数字は出席免除会員の出席者数  
会員：64名(免除14名)

	11/8	11/15	11/22
HC 出席	32(1)名	26(1)名	休会
MU 出席	6(0)名	10(2)名	
修正出席率	74.51%	67.92%	

## 会長の時間

水上 会長 (11/15分)

3クラブ合同例会は、親子関係のクラブの集まりですので、和気あいあい、親交を深めたいと思っています。又、卓話は枚岡神社宮司 中東様です。

さて、私は、東京から直接この会場にやってきましたが、3年前買収され絶望の淵から再生したクリーニング業者の発表会に行っておりました。涙の出るような話が多くありました。買収した会社は、現在白洋舎に次ぐ規模で、パートさんが4,000人近く働いていますが、社長は中卒です。私は、この社長と親しくさせて頂いております。その方と共に居て、現実遭遇した事をお話させて頂きます。ある時、社長と共に夕食をしようということとなり、奥様に「同行して!!」と言われた時のことです。奥様より「御一緒出来ないんです。パートさんが辞めるので、送別会をしなくては行けませんので…」〇〇さんとか××さんが「辞める」と言ったのではないのですが、事務所が一瞬静まり返りました。私は、びっくりして、社長を見ました。なんと!!ボロボロ涙を流していました。そして一言「淋しいお～!!」と言われました。私はそれまで、人が辞める毎に、「あいつは使いものにならない!!」、「あいつは人間になってない」「仕事は出来ないやつだ!!」と言っていましたので、私にとっては、働く人に対する社長の思いが伝わり、それ以来、一切、辞めていく人の悪口は言わないようにしています。良き勉強になりました。大きくなっていく会社は、人を大切にしているのだと思いました。

(11/29分)

今日、井戸田さんが例会に来ておられ、手術後に右手を使っておられるので、ホッとしております。日が経つにつれて良くなると思っています。早く完治して頂きたいものです。

又、先日、板倉会員と話す機会がありました。「来年は、消費税も上がるが、人はいない、建築材料費は上がる等々で、来年から万博まで5割ぐらい値上がりする」という話でした。私の会社も建築中で、そんなに上がってしまうと、出来なくなってしまう!!とびっくりしてしまいました。大阪にもバブルが来るのかと思いました。

## 卓話 ロータリー青少年保護と危機管理

「我が子と思え、我が家族と思え」

D2660 危機管理委員会

副委員長 近藤 眞道

「ロータリーのメンバーの中に、現在、児童虐待と刑期を務めている人もいます。地区ガバナーも一人含まれています。さらに私が調査した結果、児童虐待、性的虐待、小児性愛者はロータリーのメンバーの中にもおられます。」

これは、2004年、大阪で開催された国際ロータリー世界大会の青少年役員プレコンヴェンションでの英国スコットランドヤードのグルド警視の基調講演の冒頭部分です。これが契機となって、RI理事会は下記の理事会決定をします。

COP2.300

「ロータリアン、その配偶者、その他のボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え肉体的、性的、あるいは精神的な虐待から彼らの身の安全を守るため、最善を尽くす義務がある。

ロータリー関係の青少年プログラムに関与し、青少年保護に関する法律に違反した会員に対して（中略）当該クラブが対処しなかったという情報を（RI）が得た場合、理事会は、RI細則3.030.5に従ってこのクラブの加盟を停止または終結させることができる。」

と決定しました。

これらの決定に従いそれを遵守すべく必要なルールをRIは確立。そのルールは全日本34地区に適応されています。さらに、被害者側からロータリーとしての管理責任倍償訴訟を起こされることを想定し（すでに日本でも、訴訟一歩手前までの事案はでてきている）青少年奉仕部門青少年交換プログラムの法人化がなされ責任賠償保険に加入しています。

2004年当時、性的虐待、セクハラは日本社会では社会問題になってはいませんでした。しかし、昨今、この種の問題が日本社会で大きくクローズアップされて来ています。

先に述べた通り、性的虐待、セクハラからロータリー活動における青少年を保護し、且つ、ロータリークラブ・ロータリーを護る方策はすでに私共にはできています。ただ、次に問題となるのは、我々自身、ロータリアン個人個人が性的虐待・セクハラなどを自ら行わないこと、それが今重要になってきています。性的虐待とは何か、特にセクハラとは何か、をロータリアン自身が自分の問題としてよく自己検証してみる必要性が出てきました。

すでに国際ロータリーでは「青少年保護の手引き」を

作成、具体的に性的虐待・セクハラとはどのような行為が該当するか、がそこには書かれています。これらを理解し、それらの行為を自ら行わないこと。すなわちロータリアンとして高い倫理観を持ち、他人に愛と慈悲の心で接すること、それがセクハラ・性的虐待を自らをして自らを護る根本になると考えます。それがロータリアンとしての高いプライド、誇りにもなるのでしょう。

そうです、私たちが関係する、ご縁を持つ全ての人々に対して

「我が子と思え、我が家族と思え」

その思いで接すること、これがセクハラを防ぐ第一歩になるのかもしれない。

## 幹事報告

### 藤本幹事

《これからの予定》

- 【1】 本日例会後、12月度定例理事会
- 【2】 12/7（金）～8（土）地区大会
- 【3】 12/9（日）大阪なにわRC創立35周年記念式典・祝賀会（溝畑第3ゾーンロータリー財団地域コーディネーター、水上会長、藤本幹事出席）
- 【4】 12/13（木）例会後、年次総会
- 【5】 12/13（木）大阪御堂筋本町RC5周年記念式典（水上会長、藤本幹事出席）

＜連絡事項＞

- 【1】 本日例会前、第5回指名委員会を開催致しました。
- 【2】 12/7（金）～8（土）開催の地区大会へご参加の方は名札が必要となりますので必ずご持参下さい。
- 【3】 12/16（日）コンラッド大阪に於きまして、移動例会とクリスマス家族会です。ご家族お揃いで多数のご参加よろしくお願い致します。

## 委員会報告

◎R財団委員会

古川委員長

この度、天野会員、山村会員、大塚会員、河村会員、井戸田会員にご協力いただきました。有難うございました。12月のロータリーレートは112円です。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

# Welcome Lisa

## 青少年交換来日学生プロフィール

Lisa Suzanne Monique MENETRIER

ニックネーム：リザ

生年月日：2002年4月20日生 16歳  
出身国：フランス 地区番号 D1510  
受入れ高校：大阪府立夕陽丘高等学校  
現在 田原会員宅にてホームステイ  
～2019年3月まで

## ロータリー財団地域セミナー、メジャー・ドナー顕彰式 及びアーチ・クランフ・ソサエティ入会式並びに午餐会 報告

溝畑 正信

2018-19年度 国際ロータリー・ゾーン1.2.3 第47  
回ロータリー研究会が神戸ポートピアホテルで、石黒慶  
一(鶴岡西)RI理事(2017-19年度)、三木 明(姫路)  
RI理事(2018-20年度)を招集者として、2018年11月  
18日から21日まで開催されました。

18日(日)にはロータリー財団地域セミナーが、そして  
翌19日(月)には、メジャー・ドナー顕彰式およびア  
ーチ・クランフ・ソサエティ入会式が開催されました。  
私は、第3ゾーンロータリー財団地域コーディネーター  
補佐として、これらの開催のお手伝いをしました。

ロータリー財団地域セミナーは、地区の指導的立場にあ  
るガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニ、財  
団委員長や、財団に関心のある方を対象にしたもので、  
「ロータリー日本財団の現状」 ロータリー日本財団  
理事長 千玄室

「ロータリー財団の最新情報」 TRF 管理委員 北清治

「ポリオ撲滅の活動状況」 RI2750 地区ポリオ委員長  
田中靖

「ロータリーの補助金」 RI 本部グローバル補助金日  
本担当 Steven Sundstrom

「日本のGGの推進について なぜグローバル補助金が  
使われないのか」

《パネルディスカッション》

ファシリテーター RRFC 池田徳博、 パネリスト  
第1ゾーン 井原實、  
パネリスト 第2ゾーン 高橋茂樹、パネリスト  
第3ゾーン 宮里唯子

「ロータリー国際平和センターについて」

ホストエリアコーディネーター 水野功

「大口寄付の現状」 E/MGA 野口 英一

「ロータリー財団の現状」 TRF 管理委員マリオ・セザ  
ール・マルティンス・デ・カマルゴ

のプログラムで行われました。

セミナーでは、ポリオ撲滅と、特に、「グローバル補  
助金」が中心でした。

## メジャー・ドナー顕彰式、アーチ・クランフ・ソサエ ティ入会式並びに午餐会

バリー・ラシンRI会長、デ・カマグロ ロータリー財団  
管理委員の出席の元に、ロータリー財団に寄付を寄せて  
頂いた方々に感謝の意を伝えるために開催されました。  
財団の重要性は、財団を通じて寄付がふくらみ、ロータ  
リーの活動によって最大限の「世界でよいこと」が実現  
されることです。

今回、メジャードナーレベル4会員顕彰と、新AKS会員  
に対する入会式が執り行われました。

メジャードナーとは、累計寄付の合計が10,000ドルに  
達した方。

- ・レベル4: 100,000~249,999ドル
- ・レベル3: 50,000~99,999ドル
- ・レベル2: 25,000~49,999ドル
- ・レベル1: 10,000~24,999ドル

アーチ・クランフ・ソサイアティとは、累計寄付の乞  
系が250,000ドルに達した方。ソサイエティ入会者  
は、米国イリノイ州エバンストンの国際ロータリー本  
部にある「アーチ・クランフ・ソサエティ・ギャラリー  
」に肖像写真と略歴が掲載されます。



